

令和元年度事業評価 課別評価シート

【施設管理部 施設管理課】

目次

1 各事業の進捗管理	P. 1
2 【住環境】分野の事業の評価	P. 2
3 【環境保護】分野の事業の評価	P. 3
4 【災害対策】分野の事業の評価	P. 4

このシートでは、基本構想の実現に向けて、目指すべき中間アウトカムと、それを達成するための手段を整理しています。

各課ではこのシートを活用し、計画事業の進行管理を行うとともに、中間アウトカムの達成の観点から自己評価を行い、計画事業の今後の方向性を検討します。

評価の対象となる計画事業	
事業番号	事業名
災対03-05	シビックセンター改修

※事業番号は、「基本構想実施計画」に掲載している番号を使用しています

課題の発見及び今後の方向性を記載にあたっては、以下の点を参考としてください。

《検討の視点》

課題の洗い出し

- 中間アウトカム等に影響を与える、社会状況の変化
- 中間アウトカム等に関連する、区民ニーズの変化
- 中間アウトカムの達成に向けた、各事業の貢献度（事業実績の推移）
- 左記の他、事業実施に当たり、必要となる考え方
（例） ・「補助金ガイドライン」に沿った、適正な補助金の交付
・障害を理由とした差別の解消・合理的配慮
・男女平等参画や性的指向・性自認などへの配慮 など

見直す必要のある計画事業を抽出

方向性の検討

- 中間アウトカム等の達成に向けた、より効果的・効率的な手段
- 中間アウトカム等の達成に向けた、より適切なサービスの提供主体（民間活力の活用）
- 中間アウトカムや事業目的が類似する事業との連携（整理・統合）
- 新規事業の必要性
- 投入する資源（予算・人員）の最適化・再配分

【方向性の類型】

- 拡充 → 計画していた事業内容から、量・対象を拡充するもの
- 改善・見直し → 計画していた取組手法を改善・見直しするもの
- 終了予定 → 今年度中に終了を予定しているもの
- 現状維持 → 事業の対象・質、コストとも変わらないもの
- 縮小 → 計画していた事業内容を縮小するもの
- 終了済 → 昨年度までに終了した事業

1 各事業の実施状況(進行管理)

基本構想実施計画に掲げた事業量を達成するために、各計画事業の実施状況をチェックし、課題があるものについては、その内容と改善策を記載します。

事業番号	事業名	中間アウトカム		
		災害対策(B)	住環境(C)	環境保護(A)
災対03-05	シビックセンター改修			
		H29	H30	H31
	主な取組	シビックセンターの防災性向上のために中央監視システム、照明制御装置、通年稼働空調機器の更新工事を行いました。また、非常用発電設備増設のため実施設計を行いました。	シビックセンターの防災性向上のために中央監視システム、通年稼働空調、非常用発電設備増設等の工事を行いました。また、設備機器等耐震化、シビックホール等特定天井改修、コントラ更新のための実施設計等を行いました。	
	事業費(千円)	270,267	425,129	
	行政コスト(千円)	8,538	-	
	所要人員	1.060	2.356	
進捗の課題	無	進捗の課題と改善策		

2 【住環境】分野の中間アウトカムに関する事業の評価

【施設管理部 施設管理課】

本区の事業評価では、基本構想に掲げる各分野の将来像を達成するための、具体的に目指すべき状態を中間アウトカムとしています。ここでは、中間アウトカムまたは事業目的の達成に向け、課題を有する計画事業がある場合に、その課題の内容と今後の方向性を記載します。

基本構想実施計画

中項目	4-1 住環境
将来像	だれもが住み続けたい・住みたくなる快適で魅力的なまち

中間アウトカム(C) 安全・安心な生活環境が整備されている

事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
災対03-05	シビックセンター改修	施設管理課 (保全技術課・整備技術課)	シビックセンターのユニバーサルデザインの充実が図られている	現状維持	現状維持
住01-02	再開発事業の推進	地域整備課	市街地の防災性が向上し、良好な住環境が形成されている		
住03-01	バリアフリー基本構想の推進	都市計画課	ハードとソフトの両面から、区全体のバリアフリー化が進められている		
住03-02	バリアフリーの道づくり	道路課	区道のバリアフリー化が進められている		
住03-03	公衆・公園等トイレの整備	みどり公園課	だれもが快適に利用できる公衆・公園等トイレが整備されている		
住04-01	マンション管理適正化支援事業	住環境課	適正なマンション管理が行われている		
住07-01	公害防止指導	環境政策課	石綿の飛散が防止されている		
住07-02	歩行喫煙等の防止啓発	環境政策課	喫煙マナーが向上し、地域美化が推進されている		
災対03-02	不燃化推進特定整備地区(不燃化特区)事業の推進	地域整備課	耐火性の高い建物への建て替えが進んでいる		
災対03-04	区道870号無電柱化事業	道路課	歩行空間の安全性・快適性が向上している		
安03-03	コミュニティ道路整備	道路課	歩行者・自転車・自動車それぞれが安全に安心して利用できる道路環境が整備されている		
安03-05	自転車走行空間整備	道路課	歩行者・自転車・自動車それぞれが安全に安心して利用できる道路環境が整備されている		

3 【環境保護】分野の中間アウトカムに関する事業の評価

【施設管理部 施設管理課】

本区の事業評価では、基本構想に掲げる各分野の将来像を達成するための、具体的に目指すべき状態を中間アウトカムとしています。ここでは、中間アウトカムまたは事業目的の達成に向け、課題を有する計画事業がある場合に、その課題の内容と今後の方向性を記載します。

基本構想実施計画

中項目	4-2 環境保護
将来像	環境にやさしい取組を推進するまち

中間アウトカム (A) 環境負荷の低減に配慮した都市整備が進んでいる

事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
災対03-05	シビックセンター改修	施設管理課 (保全技術課・整備技術課)	シビックセンターの環境負荷の軽減が図られている	現状維持	現状維持
環01-01	環境改善舗装	道路課	治水対策など、都市環境の改善が図られている	/	
環01-02	みどりのふれあい事業	みどり公園課	まちの緑化が推進されている		
環03-01	街路灯LED化事業	道路課	環境にやさしい照明器具が導入されている		
環03-02	新エネルギー・省エネルギー機器導入の促進	環境政策課	住宅等への新エネルギーや省エネルギー機器の導入が進んでいる		

4 【災害対策】分野の中間アウトカムに関する事業の評価

【施設管理部 施設管理課】

本区の事業評価では、基本構想に掲げる各分野の将来像を達成するための、具体的に目指すべき状態を中間アウトカムとしています。ここでは、中間アウトカムまたは事業目的の達成に向け、課題を有する計画事業がある場合に、その課題の内容と今後の方向性を記載します。

基本構想実施計画

中項目	4-3 災害対策
将来像	備えと助け合いのある災害に強いまち

中間アウトカム (B)

災害に強い都市整備が進んでいる

事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
災対03-05	シビックセンター改修	施設管理課 (保全技術課・整備技術課)	シビックセンターの防災拠点としての機能が向上している	現状維持	現状維持
観01-01	無料公衆無線LANの整備	情報政策課 (防災課)	国内外からの観光客等が、インターネットを利用して災害時の情報を容易に取得することができる		
住01-01	地区まちづくりの推進	地域整備課	市街地の防災性が向上している		
住01-02	再開発事業の推進	地域整備課	市街地の防災性が向上している		
環01-01	環境改善舗装	道路課	治水対策など、都市環境の改善が図られている		
災対01-02	耐震改修促進事業	地域整備課	建物の耐震化が進んでいる		
災対03-01	熊本地震を踏まえた災害対策の充実・強化	防災課	熊本地震を踏まえ、区の災害対策の充実・強化が図られている		
災対03-02	不燃化推進特定整備地区(不燃化特区)事業の推進	地域整備課	耐火性の高い建物への建て替えが進んでいる		
災対03-03	細街路の整備	地域整備課	災害時の活動に配慮した道路拡幅整備が進んでいる		
災対03-04	区道870号無電柱化事業	道路課	災害時における緊急輸送道路の通行障害が防がれている		
安01-02	文京区空家等対策事業	住環境課 (建築指導課)	管理不全な空家が減っている		
安03-04	橋梁アセットマネジメント整備	道路課	橋梁の適切な予防保全が図られている		

評価実施のチェックリスト

以下の各項目は、事業評価にあたって留意すべき視点です。課別評価シートの記入にあたって、これらの視点を踏まえて評価を行ったか確認し、それぞれの項にチェックを入れてください。

【課題の洗い出しの視点】

- 中間アウトカム等に影響を与える、社会状況の変化
- 中間アウトカム等に関連する、区民ニーズの変化
- 中間アウトカムの達成に向けた、各事業の貢献度(事業実績の推移)
- 「補助金ガイドライン」に沿った、適正な補助金の交付
- 障害を理由とした差別の解消・合理的配慮
- 男女平等参画や性的指向・性自認などへの配慮

【方向性の検討の視点】

- 中間アウトカム等の達成に向けた、より効果的・効率的な手段
- 中間アウトカム等の達成に向けた、より適切なサービスの提供主体(民間活力の活用)
- 中間アウトカムや事業目的が類似する事業との連携(整理・統合)
- 新規事業の必要性
- 投入する資源(予算・人員)の最適化・再配分